

みずほCustomer Desk Report 2017/11/09号(As of 2017/11/08)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.76 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.74	1.1601	131.96	0.9985	1.3172	0.7655
SYD-NY High	114.01	1.1611	132.16	1.0006	1.3176	0.7685
SYD-NY Low	113.40	1.1579	131.40	0.9981	1.3087	0.7640
NY 5:00 PM	113.87	1.1595	132.05	1.0000	1.3118	0.7676
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.015/7.355		△25RR	0.590	Yen Call Over	
NY DOW	23,563.36	6.13	債券市場			
NASDAQ	6,789.12	21.34	日本2年債	-0.2030	▲2.3bp	
S&P	2,594.38	3.74	日本10年債	0.0260	▲0.6bp	
日経平均	22,913.82	▲23.78	米国2年債	1.6452	1.6bp	
TOPIX	1,817.60	4.31	米国5年債	2.0099	2.2bp	
シカゴ日経先物	22,960.00	80.00	米国10年債	2.3343	2.0bp	
ロンドンFT	7,529.72	16.61	独10年債	0.3260	▲0.1bp	
DAX	13,382.42	3.15	英10年債	1.2250	▲0.6bp	
ハンセン指数	28,907.60	▲86.74	豪10年債	2.5730	▲0.9bp	
上海総合	3,415.46	1.89	為替市況	USD/CNH	6.6322	▲0.0088
USDJPY 3M Vol	8.01	0.16%	ドルインデックス	94.88	▲0.04	
USDJPY 6M Vol	8.58	0.06%	商品市況	CRB指数	191.891	0.04
EURJPY 3M Vol	7.24	0.08%		NY金	1,283.70	7.90
EURJPY 6M Vol	8.31	0.05%		WTI	56.81	▲0.39
				Dubai Spot	61.70	▲0.20

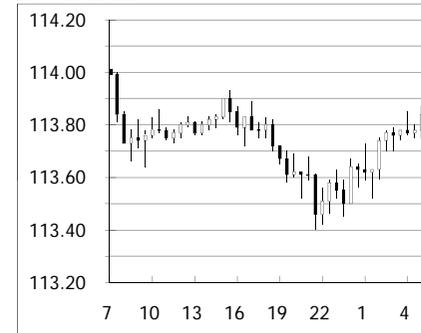
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月8日	-	中	貿易収支	10月 \$38.17B \$39.10B
	-	中	輸出/輸入(前年比)	10月 6.9%/17.2% 7.1%/17.0%
	21:00	米	MBA住宅ローン申請指数	- 0.0%

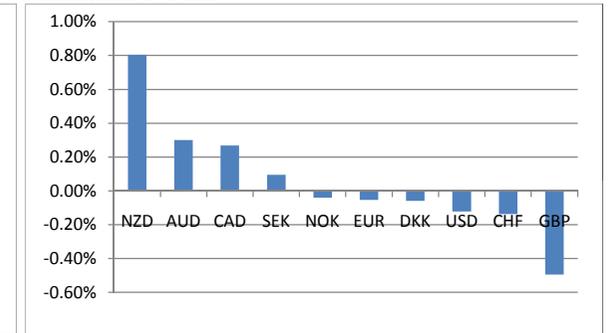
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月9日	8:50	日	日銀金融政策決定会合における主な意見	-
	8:50	日	経常収支	9月 ¥2363.4B ¥2380.4B
	8:50	日	貿易収支	9月 ¥832.5B ¥318.7B
	10:30	中	CPI/PPI(前年比)	10月 1.8%/6.6% 1.6%/6.9%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	- 232K 229K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.20-114.20	1.1550-1.1650	131.00-132.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は下に往って来いの展開。主要イベントを通過してやや材料難な雰囲気は漂う中、東京時間のドル円は113円台後半でやや上値の重い展開。足許で注目されている米税制改革法案についてライアン下院議長が法人税減税の開始時期を先送りする可能性があることを示唆するとドル円は一時113.40まで軟化。その後は米株が前日比プラス圏に浮上して堅調推移が続いたこともありドル円は113円台後半まで値を戻す展開。本日のドル円は大きくレベル下げる印象はないが、上値の重い展開を予想する。本日は米上院にて税制改革法案の公表を予定しており、その内容に注目。法人税減税の開始時期の先送りが懸念される中、先送りの無い内容となっても既に公表されている下院案と同様の内容となれば新規材料に欠けドル円相場のレンジを大きく切り上げるドライバーとはならなさそう。公表自体の先送りの可能性もある中、基本的には一定のレンジ内での上値の重い展開を予想する。

東京	東京時間朝方、米上院税制改革法案が10日に公表される見込みとのヘッドラインとともに、内容について「法人減税の1年間先送りを検討」と一部報道機関が報じたことを受けて、ドル円は113.65まで下落。かかる中、東京時間のドル円は113.74レベルでオープン。前日海外時間に日経先物が下落したことを受けて、日経平均株価が前日比小幅安で寄り付いたものの、その後徐々に下げ幅を縮小する動きに、ドル円は113円台後半で底堅く推移。午後に入り、中国から10月貿易収支が発表されるも、381.7億ドルの黒字とほぼ市場予想通りの数字にマーケットの反応は限定的。その後も特段目新しい材料が乏しい中、ドル円は狭いレンジ内での推移が続き、113.90レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.90レベルでオープン。欧州株が軟調推移する中で安値となる113.40まで売られ、113.46レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3152レベルでオープン。ブリティッシュ国際開発大臣が無断でイスラエル政府と会合を開催したことで、第2次メイ内閣から辞任する閣僚が出るとの見方が浮上。さらに、英中銀が公表した報告書において英企業の投資が2019年と20年とは鈍化するとの見通しが示されると、出口観測が遠のき、1.3092まで下落。1.3101レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.46レベルでオープン。米10年債入札を控え米金利が上昇する動きに、ドル円も緩やかに上昇。昼前にムニッヒ米財務長官より「ドルの強さの一部は米経済を反映」、「法人減税は来年から始めることを強く希望する。長く待たば、その分米経済にとって良くない」との発言が伝わったが、市場の反応は限定的。午後はプラス圏に浮上した米株動向や「米上院、税制改革案を9日NY時間11:30に公表」とのヘッドラインを受け、ドル円は113.90まで上昇した。その後は積極的に上値を追う展開とはならず、113.80付近での推移が続き、113.87レベルでクロスした。なお、引け後に一部報道で「上院財政委員は法案ではなく、概念に関する草案公表の計画」と伝えられている。一方、ユーロは1.1586レベルでNYオープン。朝方は1.16台に上昇する場面が見られたが、ロンドンフィクシングにかけてユーロ売りが強まると、安値となる1.1579まで下落。しかしこの水準では底堅く、その後は1.1595付近で狭いレンジ内での推移が続き、1.1595レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。